

QT-1702シリーズ

ユーザーズマニュアル

このたびは、本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本書は弊社製液晶モニタ QT-1702シリーズ の取扱方法や注意事項について解説しています。本製品を使用する前に必ず最後までお読みになり、正しく使用してください。なお、本書は必要なときにすぐに参照できるように保管してください。

< 製品の特長 >

- ・パソコンのアナログ RGB コネクタに接続できます。
- ・広い輝度調節範囲・広視野角を実現。
- ・AV 入力が可能です。
- ・高性能なタッチパネルユニットを搭載しております。
- ・-6~90度の広角度に可変可能な垂直テルトスタンドを採用。

P. 1	安全にお使いいただくために必ずお守りください
P. 4	パッケージ内容
P. 5	液晶モニタの仕様について
P. 6	接続方法／各部名称
P. 7	画面の調節／自動調節の方法／入力の切り替え
P. 8	OSDメニュー
P. 9	ソフトウェア・ドライバのインストール
P. 12	ソフトウェア使用方法
P. 17	製品仕様
P. 18	困ったとき
P. 20	保証とアフターサービス

クイックサンプロダクツ株式会社



安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を記載しました。正しく使用するためには、必ずお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。

なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。

パソコンの故障・トラブルや、いかなるデータの消失・破損、または取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障・トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

●本書に使われている表示と絵記号の意味

	この記号は気をつけなければならないことを示しています。		この記号はしなければならないことを示しています。
	この記号は禁止を示しています。		この記号は機器の故障や事故防止のため、電源プラグを抜く必要があることを示しています。

警告

以下の注意事項を守らないと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。

 電源ケーブルは、必ず本製品付属のものを使用してください。
付属品以外の電源ケーブルでは、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙や発火、本製品の故障の原因となる恐れがあります。

 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐにパソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。

 ケーブル類を抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
ケーブル部分をつかんで引き抜くと感電や断線の原因となります。

 本製品の分解・改造・修理を自分で行なわないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りします。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

 本体やケーブルの上に物を置かないでください。
故障や火災の原因となることがあります。

 故障した状態（画面に何も表示されないなど）で使用しないでください。
そのまま使用すると火災や感電の恐れがあります。修理のご依頼は、本書の「修理について」を参照してください。

 煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

 落雷による事故防止のため、近くで雷が発生したときは電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

 本製品の取り付け、取り外しを行なうときは、本製品およびパソコン、周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。
 電源ケーブルが接続されたまま取り付けなどを行なうと、故障や感電の原因となります。

注意

以下の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的障害の発生が考えられることを示しています。

 小さなお子様が本製品を使用する場合には、本製品の取扱方法を理解した大人の監視、指導のもとで行なうようにしてください。

 電気製品の内部やケーブル、コネクタ類にお子様の手が届かないように機器を配置してください。
さわってけがをする恐れがあります。

 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れ、体の静電気を取り除くようにしてください。
人体などからの静電気によって、本製品が破損する恐れがあります。



ゴムやビニール製品を長時間接触させたまま放置しないでください。

本製品の表面が変質したり、はげたり、ゴムやビニールが付着してとれなくなることがあります。



電源プラグ
を抜く

液体や異物などが内部に入ったら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電したりする恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

液晶ディスプレイに関して



万一、液晶パネルが破損し、内部の液状の物質が皮膚に付着したときは、流水で15分以上洗浄し、念のため医師に相談することをおすすめします。目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、必ず医師に相談してください。液晶パネル内部には、刺激性物質が含まれています。



シャープペンシルや鉛筆など先のとがったものに注意してください。

液晶パネルに先のとがったものや硬いものを当てたりこすったりすると、傷がついたり割れたりすることがあります。また、長い爪も液晶パネルの損傷の原因となりますので、注意してください。



長時間、連続してディスプレイを見続けしないでください。

目の疲労防止のため、適度の休憩を取りながら使用してください。



液晶パネルの表面は傷がつきやすいため、むやみに触れたりこすったり、叩いたりしないでください。



水分はすぐに拭き取ってください。

水滴や唾液などの水分が付着したまま長時間放置しないでください。液晶パネルの変形や退色の原因となります。



パソコンの電源スイッチがONになったままの状態、ディスプレイケーブルのコネクタを抜き差ししないでください。また、使用中はコネクタが抜けないように、必ずコネクタのネジで固定してください。

お手入れ



液晶パネルに無理な力が加わらないように注意してください。

液晶パネルに圧力が加わると、その部分の表示が波打ちます。これは、ガラス板間に注入した液晶の配光が乱れるためです。強い圧力をかけると、乱れた配光が元に復帰しなくなる場合があります。



液晶パネルを乾拭きしないでください。

液晶パネルが汚れたときは、やわらかい布やガーゼに無水アルコール（イソプロピルアルコール）を含ませて、軽く拭いてください。



溶剤を使用しないでください。

液晶パネルをベンジンやシンナーなどの溶剤や水などで拭かないでください。液晶パネルが溶けたり、退色の原因となります。



電源プラグ
を抜く

お手入れの際はパソコンの電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。

お手入れの前に、必ず本製品を接続したパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。感電の危険があります。

使用環境



直射日光、高温・多湿に注意してください。

直射日光が当たる場所や周囲の温度が40度を超えるような場所、極端に湿度が高い場所では使用しないでください。液晶パネルの劣化や表面のはがれ、気泡が発生するなどの原因となります。



低温に注意してください。

室温が0℃以下になる場所で使用すると、表示品質が低下したり、気泡が発生するなどの原因となります。また、液晶の特性が変化して元に戻らなくなることがあります。



急激な温度変化に注意してください。

動作中の急激な温度変化は、故障の原因となります。



使用条件を守って使ってください。

温度（5～35℃）・湿度（結露なきこと）の使用条件内でご使用ください。使用条件外で使用すると、寿命や劣化を早めたり、表示品質の劣化（しみ、汚れなど）の原因となります。



長期間使用しないとき

直射日光が当たらない暗い場所に保管してください。

長時間使用しないときは梱包し、直射日光や蛍光灯の光が当たらない暗い場所に保管してください。また、低温・高温、多湿な環境はさけてください。



本製品の廃棄方法について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。



次の場所には設置しないでください。

感電、火災の原因や、故障の原因となります。

- ・ 強い磁界が発生するところ 故障の原因となります。
- ・ 静電気が発生するところ 故障の原因となります。
- ・ 振動が発生するところ けが、故障、破損の原因となります。
- ・ 不安定なところ 転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- ・ 火気の周辺、または熱気のこもるところ . . . 故障や変形の原因となります。
- ・ 漏電の危険があるところ 故障や感電の原因となります。

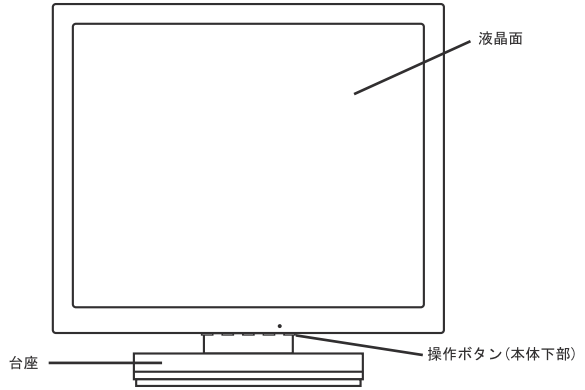
パッケージ内容

パッケージには次のものが梱包されています。万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

※パッケージに別紙で追加情報が同梱されている場合は、必ず参照してください。

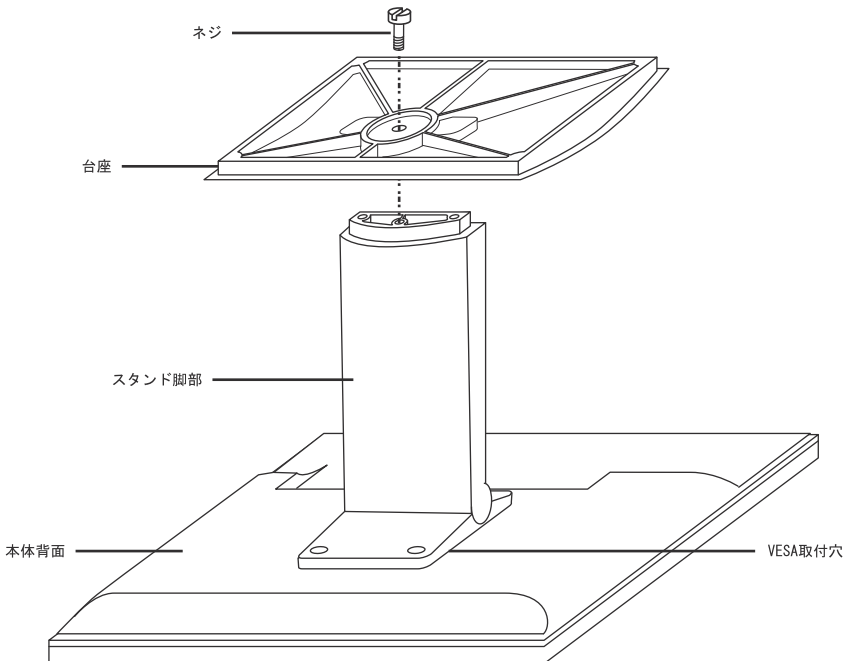
●本体	×1
●ディスプレイケーブル	×1
●AVケーブル	×2
●ACアダプタ	×1
●ACケーブル	×1
●オーディオケーブル	×1
●USBケーブル（タッチパネル搭載タイプのみ）	×1
●タッチペン（タッチパネル搭載タイプのみ）	×1
●マニュアル（本書）	×1
●保証書	×1



※タッチパネルドライバはダウンロード（<http://risintech.com.tw/support.htm>）より。CDは付属していません。

＜本製品のスタンドについて＞

出荷時は本体とスタンドの台座が個別に収納されています。台座の取り付け方法については、下図をご確認ください。
また、VESA規格（75mm×75mm）への対応は、スタンドを外した状態で行ないます。壁掛けなどで使用される際は別途取り付けアーム等をご用意のうえ設置してください。



液晶モニタの仕様について

画素欠け（黒点）や常時点灯について

TFT液晶パネルは、精密な技術に基づいて製造されています。パネル内の画素欠け（黒点）や常時点灯する点（輝点）が存在することがあります。が、製品の欠陥や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

画面に表示される縦模様（モアレ）について

2～3色のドットを平行に隣接したパターンや格子状のパターンを表示させると、画面上に「モアレ」とよばれる縦縞の干渉模様が表示されることがあります。これは発光色が相互に干渉することにより発生するもので、故障ではありません。縦模様が表示されたときは、最適な画質を得るためにP. 19「画面に縦模様（モアレ）が生じる／ノイズが出る」を参照して画面表示の調整を行ってください。

焼き付きについて

静止画を長時間表示すると、画面表示を切り換えても静止画の残像が残る「焼き付き現象」が生じることがあります。OSのスクリーンセーバー機能などを使用して、静止画を長時間表示しないようにしてください。白い画面を長時間表示すると直ることがあります。

パワーセーブ機能について

電力消費を抑えるため、一定時間パソコンを操作していない場合に自動的にパワーセーブ機能が働きます。パワーセーブ機能が働くと、電源表示LEDがオレンジ色に点灯して画面表示が消え、音声も出力されなくなります。パワーセーブ機能が働いている状態では、消費電力は3W以下になります。マウスを動かしたりキーボードのキーを押せば、通常の動作状態に戻ります。※パワーセーブ機能は、DPMS（VESA）機能を搭載するパソコンに接続し、省電力モードに設定されている場合にのみ働きます。

AV入力に関して

本機はDVDやゲームの再生機能を搭載していません。DVDやゲームを楽しむためには市販のDVDプレイヤー、ゲーム機器との接続が必要です。尚、機器により接続できない場合があります。また、一部対応していない方式もあります。ご注意ください。これらの影響により誤動作などから生じた損害に関しては、当社では一切の責任を負いません。

タッチパネルについて

本製品はアナログ抵抗膜方式を使用したタッチパネルを搭載しております。

使用する際には、以下の内容にご注意ください。

- ・タッチパネルをペンやドライバなどの先の尖ったもので押さないでください。キズや破損の原因となります。
- ・タッチパネルに衝撃を与えたり、必要以上に強く押さないでください。破損の原因となります。

接続方法

作業を行う前にパソコンの電源スイッチをOFFにしてください。



ディスプレイケーブルを本液晶モニターに接続します。
本液晶モニター背面の「D-SUB端子」へ接続してください。
ディスプレイケーブルをパソコンのアナログRGBコネクタに接続します。



ビデオなどを接続する場合（AV入力時）は付属のビデオケーブル（RCA端子）を背面の映像入力端子（および音声入力端子）へ接続してください。
画面モードをAVモードに切り替えることでビデオ映像の表示が可能です。

■タッチパネル搭載タイプ



<<タッチパネル接続方法>>

本製品に添付されているディスプレイケーブル以外にタッチパネル接続用USBケーブルを接続してください。

USBケーブルのもう一方をパソコンのUSB端子へ接続します。

□注意

- ・タッチパネル用ドライバをインストールする前にUSBケーブルを接続しないでください。
- ・本製品付属の専用ディスプレイケーブルをご使用ください。



サウンドボード又はマザーボード上のLINE OUTと液晶モニターの音声入力端子を付属のオーディオケーブルで接続します。

液晶モニターの電源ボタンをONにしてからパソコンの電源スイッチをONにします。

※D-sub15ピン（3列）のアナログRGBコネクタを装備していない機種で本製品を使用する際、市販の変換コネクタを別途用意してください。

各部名称



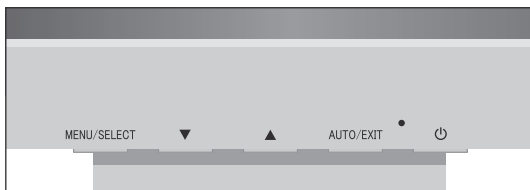
- ①タッチパネル用USB端子：タッチパネル搭載タイプのタッチパネルを制御する端子です（保護フィルタタイプにはありません）
- ②電源端子：ACバッテリー電源端子です。
- ③D-SUB端子：アナログD-SUB15ピンのVGA入力端子です。
- ④映像入力端子：外部映像（AV1）の入力端子です。
- ⑤映像入力端子：外部映像（AV2）の入力端子です。
- ⑥音声入力端子：外部から音声を入力させる端子です。PC入力時・AV入力時ともに音声はスピーカーから流れます。
音声はモノラルとなります。
- ⑦音声出力端子：外部へ音声を出力させる端子です。音声はモノラルとなります。

画面の調節

調節の仕方

※次の作業を始める前にモニタをパソコンに接続し、周辺機器（本製品を含む）→パソコンの順に電源スイッチをONにしておいてください。
※ボタンは各表示の下部にあります。

- ①MENU/SELECTボタンを押して設定メニューを表示
- ②▼または▲を押して項目を選択
- ③AUTO/EXITを押して設定メニューを閉じる



ボタン名称	シンボル	機能
MENU-SELECTボタン	MENU/SELECT	OSDメニューが開いてない時、メニュー画面を呼び出します。 OSDメニューが開いている時、選択項目を決定します。
音量小ボタン 数値設定ボタン	▼	音量を小さくします。 OSDメニュー内の数値の変更を行います。（数値下降）
音量大ボタン 数値設定ボタン	▲	音量を大きくします。 OSDメニュー内の数値の変更を行います。（数値上昇）
AUTO/EXITボタン	AUTO/EXIT	OSDメニューが開いてない時、画面入力を切り替えます。 OSDメニューが開いている時、メニュー画面を閉じます。 1秒間以上押し続けると、画面表示の自動調節を行ないます。
パワーボタン	⏻	電源のON/OFFを行います。

自動調節の方法

液晶モニタは、最適な画面表示が得られるよう自動的に調節を行なう機能を搭載しています。

初めて液晶モニタをパソコンに接続したときなどは、まず自動調節を行なってください。

※MS-DOSプロンプトなど黒い部分が多い画面やアプリケーション画面などを表示した状態で自動調節を行なっても、十分な効果が得られないことがあります。

- ①周辺機器（液晶モニタを含む）→パソコンの順に電源スイッチをONにします。
- ②OSDメニューが表示されていない状態で、フロントパネルの「AUTO/EXIT」ボタンを1秒間以上押しします。

入力の切り替え

表示の入力切り替えは、OSDメニューが表示されていない状態で、「AUTO/EXIT」ボタンにて行います。

〈RGB〉(アナログD-sub端子入力) → 〈AV1〉(RCA端子入力) → 〈AV2〉(RCA端子入力)の順に切り替わります。

OSD メニュー

共通メニュー

バックライト		バックライトの調節をします。
コントラスト		コントラストを調節します。
ブライトネス		明るさを調節します。
色温度設定	6500K	色温度をナチュラルにします。
	7500K	色温度をやや冷色にします。
	9300K	色温度を冷色系にします。
	ユーザー	ユーザー色設定を適用します。
ユーザー色設定	レッド	赤色の調節をします。
	グリーン	緑色の調節をします。
	ブルー	青色の調節をします。
画面設定	自動調整	画面設定を自動的に調節します。
	横位置	画面の横方向の位置を調節します。
	縦位置	画面の縦方向の位置を調節します。
	フェーズ	フェーズを調節します。
	クロック	クロックを調節します。
リセット		画像調整値を初期値に変更します。
音量	ボリューム	ボリュームを調節します。
	ミュート	音声をミュートします。
Sleep Timer		スリープ機能の設定をします。(Off～90分)
言語		表示言語を設定します。
OSD設定	横位置	OSD の横方向の位置を調節します。
	縦位置	OSD の縦方向の位置を調節します。
	OSD表示時間	OSD表示時間を調節します。(2～16秒)
オールリセット		すべての設定を工場出荷時の設定へ変更します。

AVモード時

彩度		彩度を調節します。
色相		色相を調節します。
シャープネス		映像の輪郭の鮮明さを調節します。
ビデオモード	ノーマル	標準的な画質で表示します。
	ナチュラル	より自然に近い画質で表示します。
	スポーツ	スポーツ番組等に最適な画質で表示します。
	鮮やか	画面全体を明るく鮮やかに表示します。

※AVモード時はOSDメニューの色温度設定項目は表示されません。

ソフトウェア・ドライバのインストール＜タッチパネル搭載タイプ＞

本製品のタッチパネル機能を使用するには、ドライバとソフトウェアをインストールする必要があります。

ドライバ・ソフトウェアをインストールする前の確認

- ・パソコンにUSB接続されてないことをご確認ください。

また、他のUSB接続機器が接続されていないことをご確認ください。

※USBケーブルを先に接続してしまった場合は「不明なデバイス」として認識される場合があります。その際は、一旦USB接続をし、認識された「不明なデバイス」を削除して、USBケーブルを抜いてください。

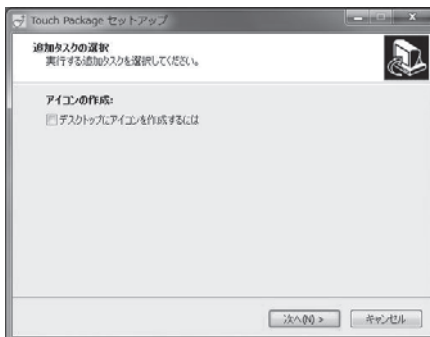
デバイスマネージャーから「不明なデバイス」を削除することができます。

1 インストール手順

<http://risintech.com.tw/support.htm> よりダウンロード、
P0へ保存、解凍のうえ実行。

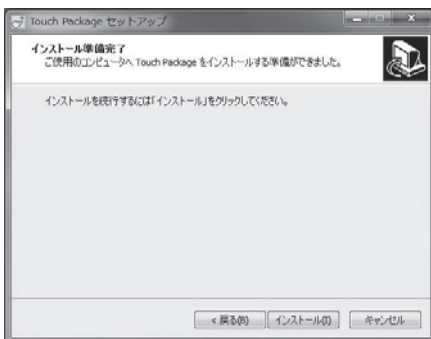


2 セットアップ設定

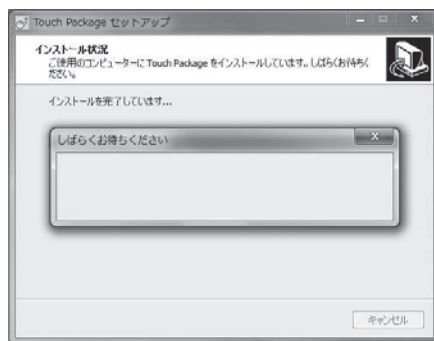


3 デスクトップにアイコンを作成には、 チェックを入れ「次へ」をクリック。

4 インストールする準備の表示後、 「インストール」をクリック。 インストールが開始されます。



5 インストールが始まります



6 ご利用PC環境等により、セキュリティに関するメッセージが表示される場合があります。
「インストール」をクリックします。

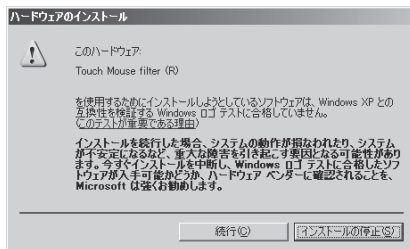


7 「完了」をクリックし、セットアップを完了します。
その後、パソコンを再起動してください。



8 USBケーブルを接続します。

- 9 USBケーブルを接続します。右記のメッセージが表示されますが、「続行」をクリックします。



<USBコネクタを接続した際に、ハードウェア更新ウィザードが表示された場合>

以下の手順で、正しくドライバのインストールを行なうことができます。

※[マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[システム]→[ハードウェア]→[ドライバーの署名]をクリックし、ファイルの署名の確認を「無視」にしてOKをクリックします。

※Windowsを再起動して、[コントロールパネル]→[システム]→[デバイスマネージャ]の「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」に「！」や「×」マークがついていないことを確認してください。「！」や「×」マークがついているときは、コンピュータがUSBを使用できない設定になっています。詳細については、お使いのコンピュータの取扱説明書をご参照ください。

※アプリケーションや使っていないウィンドウをすべて閉じます。

また、ダイアルアップ、シリアルその他ネットワーク接続も切っておきます。

※USB機器をすべて外します。

※Windows XPをお使いの場合は、[マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[システム]→[詳細設定]→[パフォーマンス]の[設定]をクリックし、[詳細設定]のタブをクリックします。プロセッサのスケジュールでバックグラウンドサービスを選択し、OKをクリックします。

※本製品をHUBなどを經由せずコンピュータのUSB端子に直結します。

ソフトウェア使用方法

注意

タッチパネルを使用するために、初期設定などでキーボード、マウスを使用します。

必ずキーボード・マウスをご用意ください。

ここでは、Ver. 3.0.9.3 を使用しておりますが、予告なくバージョンアップすることがございます。ご了承ください。

<<タッチパネルを使用するための初期設定>>

■言語設定

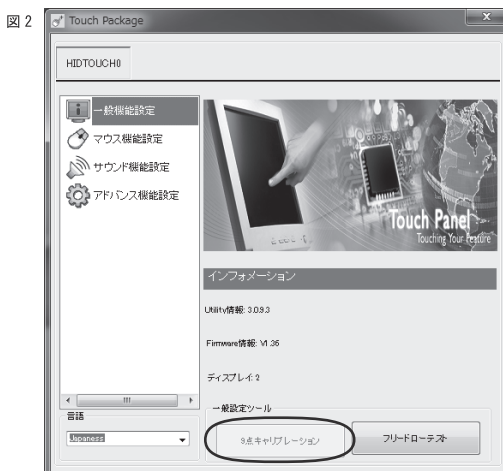
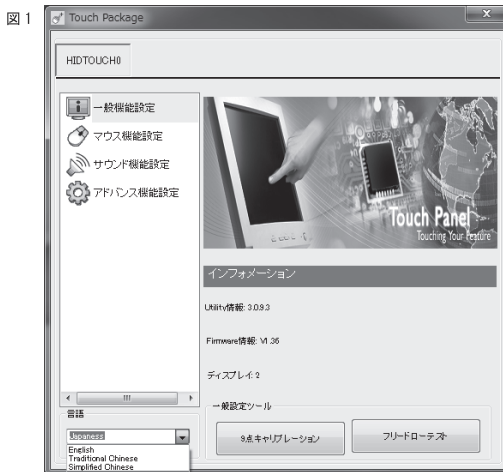
1. 「Touch tool」を起動します。（プログラムメニューに追加されています。）
2. 「一般機能設定」画面左下でソフトウェアの表示言語がプルダウンから選択できます。（図1）

※インストール時は日本語に設定されています。

接続したタッチパネルが認識されているか「一般設定ツール」を確認します。

※図2のように「9点キャリブレーション」ボタンが選択できない状態の場合、タッチパネルの認識に失敗している可能性があります。

コネクタの接続確認や、接続ポートが有効になっているかなどチェックしてください。



■キャリブレーション

本製品を使用する前に、タッチパネルのキャリブレーションを行なう必要があります。キャリブレーションによって、画面にタッチした位置と、画面に表示する位置を調節することができます。この操作をしなければ、正しく動作しない可能性がありますので、必ず行なって下さい。

1. 「一般機能設定」画面の、「9点キャリブレーション」をクリックします。(図3)
2. 図4が表示されます。画面の指示にしたがって、タッチペンでポイントを押します。
注意：ポイントを押す際は、次の指示が表示されるまで離さずに押し続けて下さい。
3. 9つのポイントを押し終えると、キャリブレーションが終了し図5が表示されます。
4. 「保存」をクリックします。

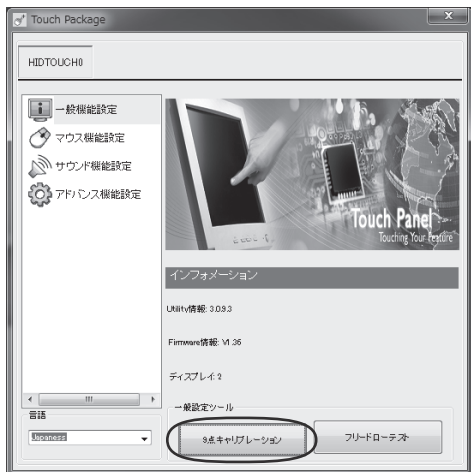


図 3



図 4

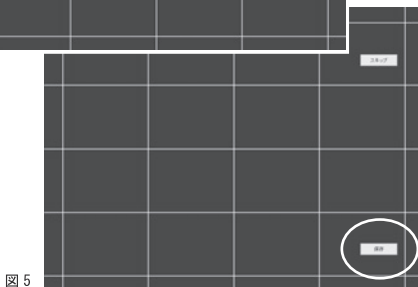


図 5

■ドローテスト

正しく認識しているかどうか、テストすることが可能です。

1. 「一般機能設定」画面の、「フリードローテスト」をクリックします。(図6)
2. 図7が表示されます。画面をタッチペンでなぞり、正しく線を描けるかチェックして下さい。
3. チェックを終えたら、「Quit」を押して画面を閉じて下さい。

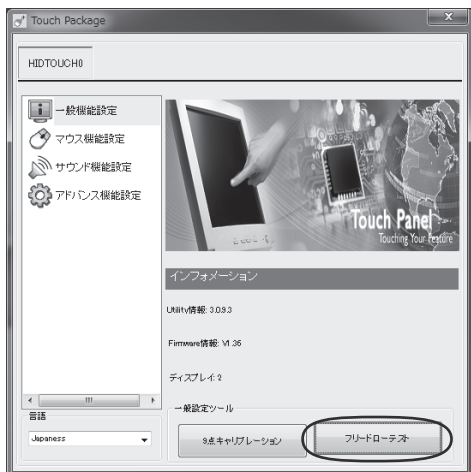


図 6

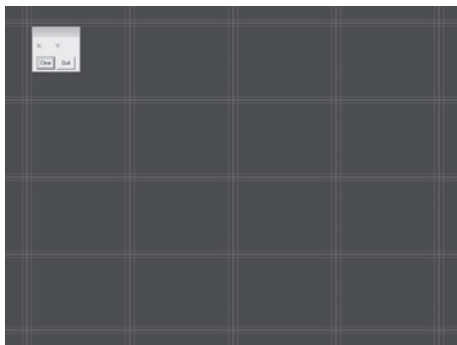


図 7

■＜アドバンス機能設定＞

●リニアリティ校正

- ・9ポイントのほか、4ポイント・25ポイントのキャリブレーション調整が可能です。

1. ＜アドバンス機能設定＞をクリックし、下記の画面（図8）を表示します。
2. 「4点リニアリティ校正」または「25点リニアリティ校正」をクリックします。
3. 画面（図9）が表示されます。画面の指示にしたがって、タッチペンでポイントを押しします。
4. それぞれポイント全てを押し終わると、キャリブレーションが終了します。
5. 図10が表示されたら「保存」をクリックします。

※調節が終わると、修正された状態をフリードローで確認できます。（図11）



図 8



図 9 （25ポイントの場合）

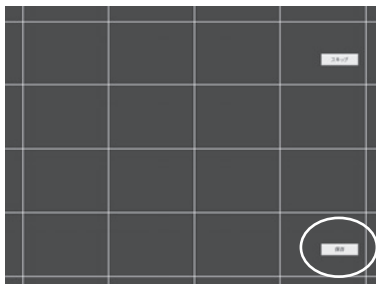


図10



図11

●HDモード

- ・ポインタの画面位置を指定する方式が選択できます。初期設定は「Mouse HD」です。

●システムツール

- ・RS232デバイスサーチ：本製品では使用しません。
- ・システム情報ツール：お使いのパソコンの情報を表示します。
- ・パラメータダウンロード：設定したキャリブレーション情報を読み込むことができます。
- ・パラメータ書き込む：設定したキャリブレーション情報を保存できます。

<<カスタマイズ>>

「Touch Tool」によって、様々なカスタマイズを行なうことができます。使用環境に合わせて、各種カスタマイズを行なって下さい。

■<サウンド機能設定（WindowsXPのみ対応）>

サウンド機能設定タブでは、ペン操作時の音に関する調節を行なうことができます。

●サウンド種類設定

- ・オーディオ：ペンダウン時、ペンアップ時に鳴らす音声(wav)がそれぞれ選択できます。
- ・ブザー：頻度／再生する音声の音程を調節します。スケールを右に動かすとピーブ音程が高くなります。
サウンドする時間／再生する音声の長さを調節します。スケールを右に動かすと、ピーブの持続時間が長くなります。

●サウンドタイミング設定

音を鳴らしたい場合にチェックをします。

- ・ペンダウン発声：画面を押した時に音声を再生します。
- ・ペンアップ発声：画面を押した後、離れた時に音声を再生します。



■<マウス機能設定>

タッチする時のマウスのエミュレーションを調節します。

●レポートモード設定

- ・ドローイングモード：ドラッグ操作が可能です。
- ・ボタンモード：クリックのみで、ドラッグ操作を適用しません。
- ・タッチ機能中止：タッチペンによる操作を不可能にします。操作を再開するにはマウス操作で設定を変更してください。

●右クリック機能設定

- ・右クリック自動発生：画面を一定時間押し続けることでマウスの右クリックと同様の操作が発生します。「自動発生タイミング」スケールを右に動かすと、右クリックが発生するまでの時間が長くなります。
- ・手動右クリック機能起動：画面右下にマウス画面を表示し、現在押されているマウスボタンを確認することができます。またマウス画面をクリックして使用するマウスボタンを切替えることができます。

●ダブルクリック機能設定

- ・タイミング設定：ダブルクリックと認識させる間隔を調節します。一度タッチしたあと、ダブルクリック速度で設定した時間内に同じ場所をタッチするとダブルクリックとみなします。スケールを右に動かすと間隔が長くなります。
- ・エリア設定：ダブルクリックとして認識する有効領域を設定します。この有効領域内であればダブルクリックのために画面をタッチする際、一度目と二度目のタッチ位置がずれても、ダブルクリックとして認識させることができます。スケールを右に動かすと有効領域が広くなります。

●モニター回転角度

- ・画面のタッチ位置を回転させることができます。お使いのパソコンの画面設定に応じて設定してください。



■マルチモニター設定

お使いのパソコンをマルチモニター構成でご使用になる場合にに応じて、複数台のタッチパネルを制御する設定を行なうことができます。

※マルチモニター使用時、図のようにソフトウェア上部に複数のタブが表示されます。タブを切り替え、モニターごとに各設定を行なうことができます。

※パソコンを再起動した場合、サブ画面の設定は初期化され、再設定が必要になる場合があります。

※マルチモニターの配置は、お使いのパソコン側で設定します。詳しくは、お使いのパソコンのマニュアルをご覧ください。



製品仕様

QT-1701 製品仕様

パネル	17型 カラーTFT液晶
解像度（最大）	SXGA 1,280×1,024
ドットピッチ	0,264mm×0,264mm
色数（最大）	約1,677万色
輝度（標準）	350カンデラ/平方メートル
コントラスト比	1000対1
視野角度（標準）	170° /160° （水平/垂直）
応答速度	約5ミリ秒
入力信号方式	アナログRGB
映像入力端子	D-sub 15ピン（ミニ、3列タイプ）
電源	AC100V・50/60Hz DC12V 5.0A
内蔵スピーカー	1W
消費電力（最大）	最大19.7W（待機時6.1W）
外形寸法	(W)378x(H)369x(D)180mm
画面寸法	(W)338x(H)270mm
重量	本体約4.2kg
動作環境	温度5℃～35℃ 湿度20%～80%
保存環境	温度-10℃～60℃ 湿度10%～90%
AV機能	RCA端子入力
壁掛け対応	VESA 75mm規格に準拠(M4)
安全性許認可	RoHS指令、CE規格、FCC規格、VCCI規格
走査周波数	水平走査周波数：30-75kHz 垂直走査周波数：56-75kHz

■タッチパネル仕様

インターフェース	USB
タッチパネルサイズ	17型
タッチ方式	アナログ抵抗膜方式 5WIRE
対応OS	Windows XP/Vista/7/8/8.1/10

※D-sub15ピン（3列）のアナログRGBコネクタを装備していない機種でモニタを使用するときは、市販の変換コネクタを別途用意してください。

※明るさ、コントラスト、比率、応答時間、および視野角の標準値は予告なく変更する場合があります。

<対応表示モード一覧>

表示モード	水平周波数（kHz）	垂直周波数（kHz）
640×480（VGA）	31.5	60
	37.5	75
800×600（SVGA）	37.9	60
	46.9	75
1,024×768（XGA）	48.4	60
	56.5	70
	60.0	75
1,280×1,024（SXGA）	64.0	60

※1,280×1,024ドットでの使用をおすすめします。

※垂直周波数が60Hzの表示モードで使用されることをおすすめします。

※上記以外の信号でも表示できることがあります。

※上記の信号でも、最適な画面表示を得るためには調整が必要です。

困ったとき

本製品の使用時に起こりうるトラブルの内容と対処方法を説明しています。
これらの確認を行なっても正常に動作しないときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

画面に何も表示されない

原因① ディスブレイケابلと、ディスプレイまたはグラフィックボードとの接触不良が考えられます。

原因② パソコンに取り付けたグラフィックボードの接触不良が考えられます。

原因③ パソコンに取り付けたメモリの接触不良が考えられます。

対応 パソコンの電源スイッチをOFFにしてからグラフィックボード、ディスプレイケーブル、メモリを接続し直してください。

①～③ ※電源スイッチがONのままディスプレイケーブルを抜き差ししないでください。本製品を破損する場合があります。

原因④ 明るさが最も低い状態に設定されている可能性があります。

対応④ 設定メニューの「ブライトネス」で画面の明るさを調節してください。

原因⑤ 異なる入力ソースが表示されている可能性があります。

対応⑤ 本体の[入力ソース切替ボタン]かリモコンの[入力キー]を操作して、入力モード(PC/AV1/AV2)を切り替えてください。

原因⑥ 電源がOFFまたはサスペンドモードになっている可能性があります。

対応⑥ 電源表示LEDが消えているときはモニタの電源がOFFになっています。電源ボタンを押してONにしてください。

電源表示LEDが橙色のときは、サスペンドモードになっています。キー入力やマウスを動かすなどの操作を行なって、サスペンドモードから復帰してください。

原因⑦ モニタが対応していない解像度が選択されています。

対応⑦ 表示モードの設定時に、モニタが対応していない垂直周波数を選択しないでください。

万一、対応外の周波数を選択してしまった場合は、画面に何も表示されなくなったり、表示が乱れたりします。(インターレースの場合は画面が分割されるなど、正常な表示が行なえません)。その場合は次の方法で正しい周波数を選択し直してください。

WindowsをSafeモードで再起動し、選択可能範囲の周波数を選択し直してください。

※設定可能な垂直同期周波数は、「対応表示モード一覧」(P.17)で確認してください。

パソコンに取り付けられているグラフィックボード(パソコン内蔵のものを含む)によっては、設定可能範囲外の数値(例:90Hz、100Hz)を選択できる場合がありますが、必ず本製品の対応周波数の範囲内で選択してください。

液晶モニタ画面上に点(黒・赤・青・緑・白)があるのですが初期不良ですか？

LCD(液晶)パネルは非常に多くの画素(半導体)で構成されており、パネルが大きくなるにつれて正常に動作しない画素(画素欠点)が生じる可能性が大きくなります。

現在のLCDパネル製造技術では完全にこのような画素欠点を無くすことは難しいのが実状です。弊社では常時点灯ドット抜け5点までは正常品とみなしております。

ペン操作時の音が鳴らない。「Touch Tool」のサウンド機能設定が反映されない。

お使いのパソコンのOSをお確かめください。Windows7・Vista ではペン操作時に音は鳴りません。＜サウンド機能設定＞はWindows XPのみで有効です。

画面に縦模様（モアレ）が生じる/ノイズが出る

原因 [フェーズ]と[クロック]が正しく調節されていません。

対応② フェーズとクロックの調整をしてください。

フェーズ調整では、画面全体に波模様が生じている場合に使用します。

クロック調整では、文字やアイコンの輪郭にゴーストなどが表示されている場合に使用します。



※フェーズ・またはクロックのみが搭載されているモデルでは、どちらか片方を調節してください。

ノイズが出ないように調整したにもかかわらず、アプリケーション実行時に画面が乱れることがある (特に動画再生時)

原因 ノイズが解消できるポイントの設定値が複数ある場合があります。複数のポイントでの画面表示は同じように見えるため、どちらを設定値に選んでもノイズは除去できたように見えますが、設定値が異なるため、調整後のアプリケーション画面でノイズが発生することがあります。

対応 再度設定メニューの[フェーズ]でノイズ除去する設定を行ってください。このとき、一度出荷時設定に戻すと設定しやすくなります。出荷時の設定に戻すには、OSDメニューで[リセット]を行ないます。出荷時設定に戻すと、画面のサイズや位置などすべての項目が出荷時の状態に戻りますので、ご注意ください。必要ならば他の設定項目も再設定してください。

自動調節で思い通りの結果が得られない

原因 調整中に表示されている画面

対応 調整中の画面によっては、思い通りの結果が得られない場合があります。DOSなどの黒い部分が多い画面やアプリケーション画面では十分な効果が得られない場合があるのでご注意ください。
また、画像信号の状態によっては（複数に分岐している、ノイズが発生している、など）十分な結果が得られないことがあります。あらかじめご了承ください。

タッチパネルが認識しない。

原因① ドライバが正しくインストールされていない。

原因② 正しく接続されていない。

原因③ 他の接続機器の影響

対応① 一旦、ドライバーおよびソフトウェアをアンインストールし、再度取扱説明書に従ってインストールを行ってください。

対応② USBケーブルまたはケーブルが正しく接続されているかご確認ください。

対応③ 他の接続機器の影響によって、タッチパネルが正しく認識されない場合もあります。一旦、ドライバーおよびソフトウェアをアンインストールし、他の接続機器を外した状態でドライバおよびソフトウェアのインストールを行ってください。

他の機器を接続したときに限って本製品が使用できなくなる場合は、本製品の故障ではないため保証対象外となります。影響している機器のメーカーへご連絡ください。

保証とアフターサービス

保証について

本製品には保証書が添付されております。この保証書は、本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。お客様が無償修理を要求する場合には必要となりますので、保証期間、製品名および製品シリアルNo. が記載されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から保証書に記載されている期間です。（ただし、光源の蛍光管は消耗品ですので、保証の対象になりません）。保証期間中でも修理が有料になる場合もございますので、「安全にお使いいただくために必ずお守りください」をよくお読み下さい。保証期間後の修理に関しましては、弊社サポートセンターまでご連絡ください。修理によって機能が維持できる場合には、ご希望により有料修理いたします。

修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照し設定や接続が正しいか再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒に送りください。また修理票は、以下の事項をお調べになって、各事項を記入してください。

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| ①返送先[氏名/住所/電話番号/FAX番号] | ⑤具体的な症状/エラーメッセージ |
| ②平日昼間の連絡先[氏名/住所/電話番号/FAX番号] | ⑥発生頻度[必ず/頻繁/時々/時間が経つと 他] |
| ③修理対象製品名 | ⑦コンピュータ[本体メーカー名] |
| ④製品シリアルナンバー | ⑧OS[ソフト名/メーカー名/バージョン] |

クイックサンプロダクツ株式会社 サポートセンター 電話番号 03-5577-4929 月～金 10:00～17:00 ※年末年始、祝日は除く

※ご依頼いただいた修理品、または製品不具合以外に関するお問い合わせは承っておりません。

※お持ち込みでの修理は行っておりません。

※宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りしております。

※送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社は責任は負いかねますので、輸送会社に別途保証をいただくなどの措置を取ってください。

※修理期間は、製品到着後10日程度（弊社営業日）を予定しております。

※修理内容によっては、20日程度（弊社営業日）かかる場合がございます。

※同梱されていたケーブル等は、すべて返送してください。

※修理・交換時の輸送には、購入時の外箱、梱包材料を必ずご使用ください。

※対象製品をご返送頂いた上でハードウェアの修理を行います。交換商品を返却前にお送りいたしませんのでご了承ください。

※修理期間中における代替品の貸し出しは一切行いません。また、修理期間中のお客様の不利益や損害に関しましては免責とさせていただきます。

※製品の不良や使用時の不注意に起因する他の機器の損害、及び運用上のお客様の不利益や損害に関しましては免責とさせていただきます。

※以下の場合には、保証範囲には含まれません。

- ・使用上の不注意による不良および破損
- ・取扱説明に従わず使用した場合
- ・火災／水害／落雷およびその他の不可抗力要素による不良および破損

●本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行なうことは禁じられております。

●本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

●本書では、TM などのマークは記載していません。

●本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

●本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

●本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に關しての日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

●本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

●弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合には、保証しておりません。

●本製品に起因する債務不履行または不当行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

●本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

■ホームページ

<http://www.quixun-p.co.jp/>

■製品に関するお問い合わせ

クイックサンプロダクツ株式会社 サポートセンター

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-11-10 コハラビル6F

TEL : 03-5577-4929 (月～金 10:00～17:00 ※年末年始、祝日を除く)

E-Mail : support@quixun-p.co.jp

※受付時間や電話番号等は、予告なく変更することがあります。

最新の内容は弊社ホームページでご確認ください。